

2019 年度 資源・素材学会 第4回理事会 関東支部報告

日 時： 令和元年7月10日（水）15時00分～17時00分
場 所： 資源・素材学会 4階会議室
支部長： 岡部 徹
支部長代理： 築城 修治
副支部長： 天満 則夫
主幹事： 大内 隆成

報告事項

1. 総会報告【資料15-3-1-1】～【資料15-3-1-7】
 - 1-1. 議事次第（資料15-3-1-1）
 - 1-2. 平成30年度事業報告（資料15-3-1-2）
 - 1-3. 令和元年度事業計画（資料15-3-1-3）
 - 1-4. 平成30年度決算報告（資料15-3-1-4）
 - 1-5. 令和元年度予算案（資料15-3-1-5）
 - 1-6. その他（資料15-3-1-6）
 - 1-7. 総会議事録（資料15-3-1-7）
2. 幹事会報告【資料15-3-2-1】～【資料15-3-2-5】
 - 2-1. 議事次第（資料15-3-2-1）
 - 2-2. 関東支部役員（幹事）名簿確認（資料15-3-2-2）
 - 2-3. 第15回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会 報告（資料15-3-2-3）
 - 2-4. 第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会 概要（資料15-3-2-4）
 - 2-5. 幹事会議事録（資料15-3-2-5）
3. 第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会
【資料15-3-3-1】～【資料15-3-3-3】
 - 3-1. 第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会 開催案内
（資料15-3-3-1）
 - 3-2. 第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会 依頼
（資料15-3-3-2、15-3-3-3）

添付資料

- | | |
|------------|-------------------------------|
| 資料15-3-1-1 | 資源・素材学会 関東支部 定時総会 議事次第 |
| 資料15-3-1-2 | 平成30年度実施報告 |
| 資料15-3-1-3 | 令和元年度事業計画 |
| 資料15-3-1-4 | 平成30年度 資源・素材学会関東支部 決算報告 |
| 資料15-3-1-5 | 令和元年度 資源・素材学会関東支部 予算(案) |
| 資料15-3-1-6 | 資源・素材学会関東支部令和元年度常議員名簿 |
| 資料15-3-1-7 | 資源・素材学会 関東支部 定時総会 議事録 |
| 資料15-3-2-1 | 資源・素材学会 関東支部 令和元年度第1回幹事会 議事次第 |

- 資料 1 5-3-2-2 令和元年度（2019年）資源・素材学会関東支部役員名簿
- 資料 1 5-3-2-3 第15回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会 報告書
- 資料 1 5-3-2-4 第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会 開催案内
(案)
- 資料 1 5-3-2-5 資源・素材学会 関東支部 第1回幹事会 議事録
- 資料 1 5-3-3-1 第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会 開催案内
- 資料 1 5-3-3-2 第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会 ブース出展の
お願い
- 資料 1 5-3-3-3 企業への依頼メール一例

資源・素材学会 関東支部 定時総会 議事次第

日時：令和元年5月29日(水) 16時00分～16時30分

場所：東京大学 生産技術研究所 An棟3階 大会議室

議題：

1. 平成30年度事業報告（資料1）
2. 令和元年度事業計画（資料2）
3. 平成30年度決算報告（資料3）
4. 令和元年度予算案（資料4）
5. その他

資料：

1. 平成30年度資源・素材学会関東支部事業報告
2. 令和元年度資源・素材学会関東支部事業計画
3. 平成30年度資源・素材学会関東支部決算報告
4. 令和元年度資源・素材学会関東支部予算案
5. 常議員名簿

【平成 30 年度実施報告】

関東支部

1. 役職（任期は全て 1 年）

○支部長：山口勉功

○副支部長：築城修治、岡部徹

○主幹事：所千晴

○幹事：及川寧己、田中幹也、古屋仲茂樹、森田一樹、松浦宏行、村上進亮、大内隆成、小山和也、永井崇、金田章、岡本秀征、栢生憲治、小林義文、高井 義成、飯塚茂、斎藤雅典、富田新二、佐々木孝之、川崎堯、田村宗之、高木裕治、岡部進、宇都宮公昭

2. 支部所在地

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41

一般社団法人 資源・素材学会事務局内

3. 支部運営に関する会議

○支部総会

開催日：平成 30 年 5 月 10 日（木）

会場：早稲田大学 西早稲田キャンパス
51 号館 3 階第 5 会議室

出席者：33 名、委任状 252 名

議事：

- [1] 平成 29 年度事業報告
- [2] 平成 30 年度事業計画
- [3] 平成 29 年度決算報告
- [4] 平成 30 年度予算案、他

○第 1 回幹事会

開催日：平成 30 年 5 月 10 日（木）

会場：早稲田大学 西早稲田キャンパス
51 号館 3 階第 5 会議室

出席者：19 名

議事：

- [1] 平成 30 年度支部幹事について
- [2] 平成 30 年度支部事業について
- [3] その他

○第 1 回常議員会

開催日：平成 30 年 5 月 28 日（月）

メール会議

議事：

- [1] 平成 30 年度事業計画
- [2] 平成 30 年度予算案
- [3] その他

○第 2 回常議員会

開催日：平成 30 年 12 月 3 日（月）

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス 62W 号館大会議室

出席者：出席 15 名（うち常議員 13 名）、委任状 25 名

議事：

- [1] 夏の交流会の開催報告・支部教育事業助成金申請
- [2] 平成 31 年度支部長・副支部長候補の選出
- [3] 平成 31 年度代議員の推薦に関して
- [4] 春季大会について
- [5] その他

4. 支部主催、共催、協賛、後援などの実施事業

○「第 15 回『資源・素材・環境』技術と研究の交流会」
開催＜主催＞

開催日：平成 30 年 8 月 3 日（金）午後

場所：東京大学 武田先端知ビル 武田ホール

参加者：145 名

（学生 76 名、大学・研究機関 19 名、企業ほか 50 名）

内容：

- [1] 学生によるポスターセッション（65 件）
- [2] 企業によるショートプレゼンテーションおよび
ブースセッション（10 社）
- [3] 意見交換会
- [4] 優秀ポスター賞表彰（5 名）

○「第 15 回『資源・素材・環境』技術と研究の交流会」
優秀ポスター賞受賞者の秋季講演大会への派遣（5 名）

【令和元年度事業計画】

1. 役職（任期は全て1年）

○支部長：岡部 徹

○支部長代理：築城 修治

○副支部長：天満 則夫

○主幹事：大内 隆成

○幹事：竹内 信登、宇都宮 公昭、及川 寧己、岡本 秀征、金田 章、川崎 堯、小林 義文、上田 高生、小山 和也、齋藤 雅典、佐々木 孝之、高井 義成、高木 裕治、尾形 剛志、初谷 和則、所 千晴、富田 新二、永井 崇、拝生 憲治、松浦 宏行、村上 進亮、森田 一樹、山口 勉功、今 行忠、八木俊介

2. 支部所在地

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41

一般社団法人 資源・素材学会事務局内

3. 支部運営に関する会議

開催日：令和元年5月29日（水）

会場：東京大学 生産技術研究所 An 棟 3階 大会議室

出席者：27名、委任状370名

議事：

- [1] 平成30年度事業報告
- [2] 令和元年度事業計画
- [3] 平成30年度決算報告
- [4] 令和元年度予算案
- [5] その他

○第1回幹事会

開催日：令和元年5月29日（水）

会場：東京大学 生産技術研究所 An 棟 3階 大会議室

出席者：21名

議事：

- [1] 新体制の確認
- [2] 交流会の開催予定
- [3] 春季講演大会準備、他

○第1回常議員会

開催日：令和元年5-6月ごろ（メール審議を予定）

議事：

- [1] 平成30年度事業計画案
- [2] 平成30年度予算案、他

○第2回常議員会

開催日：令和元年10-11月頃

議事：

- [1] 交流会の実施報告
- [2] 代議員推薦候補者選出、他

○春季大会プログラム委員会

開催日：未定

議事：春季大会プログラム編成

4. 支部主催、共催、協賛、後援などの実施事業

○「第16回『資源・素材・環境』技術と研究の交流会」

開催＜主催＞

開催日：令和元年8月2日（金）午後

場所：東京大学 生産技術研究所 An 棟
コンベンションホール

○「第16回『資源・素材・環境』技術と研究の交流会」

優秀ポスター賞受賞者の秋季大会への派遣

○関東支部令和元年度見学会＜主催＞

開催日：未定

場所：未定

平成30年度 資源・素材学会関東支部 決算報告

自 平成30年2月1日 至 平成31年1月31日

1. 収入の部

科目	平成30年度 予算額	平成30年度 実行額	備考
(1)本部給付金	769,000	769,000	
(2)事業収入	10,000	389,962	春季大会余剰金
(3)その他	550,000	542,024	交流会出展料等
交流会出展料	(300,000)	(300,000)	
交流会意見交換会参加費	(50,000)	(42,000)	
支部教育事業助成金	(200,000)	(200,000)	
預金利息	(0)	(24)	
(4)繰越金	2,580,197	2,580,197	
計	3,909,197	4,281,183	

2. 支出の部

科目	平成30年度 予算額	平成30年度 実行額	備考
(1)集会行事費	1,200,000	1,438,620	交流会等
交流会経費		(453,564)	
交流会意見交換会		(500,432)	
交流会・学生派遣		(484,624)	
見学会		(0)	
(2)諸会議費	50,000	6,000	幹事会お茶代等
(3)旅費交通費	80,000	40,800	幹事交通費等
(4)事務局費	50,000	145,189	郵便代・アルバイト代
(5)その他	0	0	
(6)予備費	10,000	0	
(7)繰越金	2,519,197	2,650,574	
計	3,909,197	4,281,183	

令和元年度 資源・素材学会関東支部 予算（案）

自 平成31年2月1日 至 令和2年1月31日

1. 収入の部

科目	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額	備考
(1)本部給付金	769,000	769,000	
(2)事業収入	389,962	10,000	春季大会余剰金
(3)その他	542,024	550,000	交流会参加費・出展料、 支部教育助成金、利子
(4)前期繰越金	2,580,197	2,650,574	
計	4,281,183	3,979,574	

2. 支出の部

科目	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額	備考
(1)集会行事費	1,438,620	1,400,000	交流会等
(2)諸会議費	6,000	10,000	幹事会お茶代等
(3)旅費交通費	40,800	80,000	幹事交通費等
(4)事務局費	145,189	150,000	郵便代・アルバイト代
(5)雑費	0	0	
(6)その他	0	0	
(7)予備費	0		
(8)次期繰越金	2,650,574	2,339,574	
計	4,281,183	3,979,574	

資源・素材学会関東支部令和元年度常議員名簿

2019年4月1日現在

任 期	氏 名	現 職	任 期	氏 名	現 職
20-1	朝 日 弘	住友金属鉱山取締役常務執行役員資源事業本部長	21-1	大 木 達 也	産総研環境管理研究部門総括研究主幹
"	伊 藤 公 久	早稲田大学教授 (応用数理学)	"	太 田 洋 文	日本メタル経済研究所主任研究員
"	及 川 寧 己	産総研地質調査総合センター地圏資源環境研究部門地圏	"	拝 生 憲 治	三井金属鉱業金属事業本部技術部部長補佐
"	大 和 田 秀 二	早稲田大学教授 (環境資源工学)	"	奥 田 晃 彦	田中貴金属工業化学回収カンパニー執行役員湘南工場工場長
"	岡 部 徹	東京大学教授 (生産技術研究所)	"	香 月 達 也	JX金属資源事業部
"	岡 本 秀 征	住友金属鉱山技術本部技術企画部担当部長	"	神 谷 太 郎	JOGMEC金属資源技術部生産技術課長
"	金 田 章	三菱マテリアル金属事業カンパニー製錬部副部長	"	川 上 智	DOWAホールディングス技術部門 兼 環境・安全部門部長
"	小 林 大 祐	パンパシフィック・銅製錬部マネージャー	"	黒 川 晴 正	住友金属鉱山取締役専務執行役員材料事業本部長
"	坂 井 敏 彦	日本鉱業協会理事	"	小 山 和 也	千葉工業大学教授 (先端材料工学)
"	下 田 直 之	石灰石鉱業協会専務理事	"	柚 津 雄 治	日鉄鉱業株式会社取締役
"	白 鳥 寿 一	イー・アンド・イー・ソリューションズ代表取締役社長	"	高 木 裕 治	石灰石鉱業協会技術部長
"	神 保 至	東海大学教授 (材料科学)	"	竹 内 信 登	東邦亜鉛技術開発本部技術部長
"	田 上 洋 人	JX金属タantal・ニオブ事業部主席技師	"	田 中 幹 也	産総研つくば西事業所長
"	田 中 史 人	三菱マテリアル金属事業カンパニー製錬部製錬技術室室長	"	築 城 修 治	日本鉱業協会理事
"	丹 野 秀 昭	日本エリゾマグネテックス代表取締役社長	"	所 千 晴	早稲田大学教授 (環境資源工学)
"	天 満 則 夫	産総研創エネルギー研究部門副研究部門長	"	トドビハシヨ ルシ	東京大学准教授 (システム創成学)
"	富 田 新 二	石炭エネルギーセンター技術開発部次長	"	中 村 建 作	JX金属技術開発センター製錬グループ主席技師
"	永 井 崇	千葉工業大学准教授 (先端材料工学科)	"	原 田 幸 明	物質・材料研究機構特命研究員
"	名 塚 龍 己	古河機械金属技術統括本部本部長	"	松 浦 宏 行	東京大学准教授 (マテリアル工学)
"	福 井 勝 則	東京大学教授 (システム創成学)	"	松 本 伸 弘	住友金属鉱山執行役員金属事業本部長
"	堀 昭 博	日鉄鉱コンサルタント相談役	"	森 田 一 樹	東京大学教授 (マテリアル工学)
"	峰 義 博	三井金属鉱業金属事業本部技術部部長	"	岸 本 和 彦	日本鉱業協会技術部部長代理
"	宮 林 良 次	JX金属常務執行役員 金属事業部長	"	古 屋 仲 茂 樹	産総研環境管理研究部門資源選別プロセス研究グループ研究グループ長
"	村 上 進 亮	東京大学准教授 (システム創成学)	"	高 井 義 成	DOWAメタルマイン製錬部次長
"	木 村 信 彦	三井金属鉱業金属事業本部資源事業部長	"	山 崎 淳 司	早稲田大学教授 (環境資源工学)
"	森 田 英 治	東邦亜鉛安中製錬所第一・第二製造部部長	"	須 山 俊 明	DOWAメタルマイン代表取締役社長
"	矢 野 和 文	三菱マテリアル金属事業カンパニー資源事業部技術部部長	"	村 岡 弘 康	海外ウラン資源開発技術部部長
"	山 口 勉 功	早稲田大学教授 (環境資源工学)	"	大 高 信 之	三菱マテリアル 技術統括本部 資源部部長
"	和 嶋 隆 昌	千葉大学准教授 (都市環境システム)	"	東 晋 吾	太平洋セメント鉱業部長
"			"	齋 藤 雅 典	古河メタルリソース代表取締役社長

資料 15-3-1-7

資源・素材学会 関東支部 定時総会 議事録

日時：令和元年 5 月 29 日（水）16 時 00 分～16 時 30 分

場所：東京大学 生産技術研究所 An 棟 3 階 大会議室

出席者：27 名

委任状：370 名

議題 1：平成 30 年度事業報告（資料 1）

山口勉功前支部長より平成 30 年度事業報告がなされ、内容が承認された。

議題 2：令和元年度事業計画（資料 2）

岡部徹支部長より令和元年度事業計画が報告され、内容が承認された。

業務委託

岡部支部長より支部業務（総会・幹事会・会計・連絡・集計・交流会運営など）を業務委託するべきであるという提案があった。支部業務は膨大であるが、これまでは、支部長の周りの資源・素材学会と関係のない経費で雇用されているスタッフの献身（過剰な負荷）によって運営されてきた。この状態は健全な運営体制とは言えない。今後の運営の質の維持と更なる向上には、相応の予算だてをして、有償で仕事を受けるスタッフを配置する必要があると説明があった。天満先生、永井先生、をはじめ、会場からは概ね業務委託の必要性について賛同されたものの、支部業務の委託の財源については議論がまとまらなかった。資源・素材学会本部で支部担当を作る、関東支部の繰越金で数年賄って試してみる、関東支部の活動（春季大会余剰金や交流会の出展料など）の余剰金から賄う、岡部支部長からは岡部支部長が数年支払うなどの意見が出た。議論の中で、岡部支部長が払うという選択肢はあり得ないという意見があった。また、築城支部長代理より、支部業務を業務委託する費用と、交流会の出展料とは切り離して考えるべきであるとの意見があった。

本件については、岡部支部長が有用な人材を探し、費用については、関東支部の余剰金で賄いつつ、実際に必要な経費を算出し、本部に予算計上するか、本部の中に支部担当者を配置するなどの働きかけをしていくこととなった。

「第 16 回『資源・素材・環境』技術と研究の交流会」

日時、会場について承認された。事前に宇都宮事務局長および山口前支部長より提案のあった住友大阪セメント株式会社を参加企業として増やすことに対して、岡部支部長より問題提起がなされた。詳細は以下のとおりである。

参加企業数を増やすことは、交流を深めるという視点からも、運営の視点（会場確保、平等性、時間、コストなど）からも、理にかなっていない。ブースの数が闇雲に増えると運営上、不平等感が増える。また、学生は 4 社程度しか回れないので、学生にとっては、実質上 8 社程度で十分な数となる。一方で、今回一社増やすことで、今後他社が参加希望した際に、拒否する理屈がなくなってしまう。したがって、理由な

しに参加企業を増やしては、会の運営が成り立たなくなってしまう恐れがある。

この問題提起に対して、当日総会およびその後の幹事会を通じて議論がなされたが、結論が出なかったため、最終的には、岡部支部長に一任するという事で合意し閉会した。

なお、本件については、後日、岡部支部長が多角的な視点から情報収集及び相談を行った結果、「支部総会の前に新たな企業参加が前提となっていた点は不自然であったものの、すでに、宇都宮事務局長が住友大阪セメント株式会社に対して積極的に働きかけていたという状況を踏まえて、特例として、住友大阪セメント株式会社の参加を認め、これ以降の企業ブースの増加は認めない」という結論に至った。

議題 3：平成 30 年度決算報告書

山口前支部長より資料 3 に沿って決算報告がなされ承認された。

資料 3 に一部誤植があったため後日修正し、修正版を正式な資料とした。

議題 4：令和元年度予算案

岡部支部長より資料 4 に沿って予算案について報告され、承認された。

資料 4 に一部誤植があったため後日修正し、修正版を正式な資料とした。

議題 5：その他

常議員名簿について参加者に確認を頂いた。

文責：大内隆成（関東支部主幹事）

資源・素材学会 関東支部 令和元年度第1回幹事会

議事次第

日時：令和元年5月29日（水）16時30分～

場所：東京大学生産技術研究所 An棟 3階 大会議室

議題：

- 1 資源・素材・環境技術と研究の交流会について
 - ✓ 日程について（8月2日（金））
 - ✓ 会場について（東京大学生産技術研究所 An棟コンベンションホール）
 - ✓ 企業ブース出展について
 - ✓ 優秀ポスター賞に伴う学生の秋季大会への派遣に関して

- 2 その他
 - ✓ 見学会の実施について
 - ✓ 令和2年度春季大会について
（2020/3/未定 @千葉工大津田沼キャンパス）

配布資料：

1. 関東支部役員名簿
2. H30年度（第15回）交流会開催報告
3. 令和元年度（第16回）交流会開催案内（案）

令和元年度(2019年)資源・素材学会関東支部役員名簿

2019/5/27現在

	役職	所属	氏名	
	支部長	東京大学	岡部 徹	常議員
	支部長代理	日本鉱業協会	築城 修治	常議員
	副支部長	産総研	天満 則夫	常議員
	主幹事(兼会計)	東京大学	大内 隆成	
1	幹事	東邦亜鉛	竹内 信登	常議員
2	幹事	資源・素材学会	宇都宮 公昭	
3	幹事	産総研	及川 寧己	常議員
4	幹事	住友金属鉱山	岡本 秀征	常議員
5	幹事	三菱マテリアル	金田 章	常議員
6	幹事	日鉄鉱業	川崎 堯	
7	幹事	JX金属	小林 義文	
8	幹事	産総研	上田 高生	
9	幹事	千葉工大	小山 和也	常議員
10	幹事	古河メタルリソース	齋藤雅典	常議員
11	幹事	太平洋セメント	佐々木 孝之	
12	幹事	DOWAメタルマイン	高井 義成	常議員
13	幹事	石灰石鉱業協会	高木 裕治	
14	幹事	産総研	尾形剛志	
15	幹事	JOGMEC	初谷和則	
16	幹事	早稲田大学	所 千晴	常議員
17	幹事	JCOAL	富田 新二	常議員
18	幹事	千葉工大	永井 崇	常議員
19	幹事	三井金属鉱業	拝生 憲治	常議員
20	幹事	東京大学	松浦 宏行	常議員
21	幹事	東京大学	村上 進亮	常議員
22	幹事	東京大学	森田 一樹	常議員
23	幹事	早稲田大学	山口 勉功	常議員
24	幹事	住友大阪セメント	今 行忠	
25	幹事	東京大学	八木俊介	

関東支部

第15回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会 報告

資源・素材学会関東支部では、産官学の学生、若手研究者および技術者が交流する場の提供を目的として、「資源・素材・環境」技術と研究の交流会を行っている。15回目の今年度は、2017年8月3日（金）の午後、東京大学武田ホールにて開催し、学生76名、大学・研究機関19名、企業他から50名の計145名の参加があった。学生ポスターセッションにも64件もの発表があり、大盛況となった。当日のプログラムは表1の通りである。ポスターセッションと企業セッションからなり、参加者同士の交流のための時間を多く取る形式で行っている。

山口勉功支部長(早大)の開会挨拶の後、学生によるポスター発表を実施した。限られた時間の中、熱心な意見交換の姿が見られた(図1)。学生にとっては、自らの研究内容を企業や研究所の研究員、他大学の教員などに説明し、フィードバックを得られる貴重な機会であり、大学・研究機関、企業等からの参加者にとっては議論を通じて学生の能力・気質を知るよい機会である。

ポスターセッションでは、大学・研究機関、企業等からの参加者による投票に基づき5件の優秀ポスター賞(表2)を選出した。受賞者には副賞として、資源・素材学会学生会員の年会費支援、ならびに資源・素材学会秋季大会(9/10-12、福岡工業大学)への参加費用支援を得る権利が授与された。受賞学生が秋季大会への発表登録を行っていない場合にも、学会事務局のご厚意により企画セッションとして設けられていた第4回資源・素材塾ネットワークにて受賞ポスターを発表する機会を与えていただいている。

ブース形式による企業セッションでは、今年度は10社より出展があった。昨年と同様に、ブースセッションの開始前に出展各社より会場ステージにて5分間の企業紹介のプレゼンテーションをして頂いた。いずれも中身の濃い熱の入った内容であり、学生のみならず一般参加者にとっても非常に興味深い内容であった。その後、20分間のブースセッションを4回繰り返して実施した。各回とも、参加学生が熱心に話を聴き、活発に質問をしている様子が伺われた(図2)。ブース間で聴講人数に偏りのないよう、自主的な調整を呼びかけているため、必ずしも希望の企業を訪問できるとは限らないが、分野において活躍する人材との広い交流や、新しい知識の獲得に役立っていると考えられる。

セッション終了後はホール付随のホワイエで意見交換会を実施した。学生と社会人が打ち解け交流する姿が見られた。意見交換会は資源・素材学会会長の土田直行様よりご挨拶をいただいた後、副支部長の築城修治様の乾杯にてはじまり、優秀ポスター賞の表彰式を行った後、大内隆成先生(東大生産研)より閉会の辞をいただき終了した。優秀ポスター賞の表彰式では小山和也先生(千葉工大)のご講評をいただいた。セッションでは活発な意見交換が行われていたこと、投票結果は全てのポスターに対してに投票があり、僅差であったことから、どの発表を素晴らしかったとのご講評をいただいた。

以上、学生と企業の双方からの発表を通じて、本交流会の目的である産官の若手研究者と学生の交流は十分に達せられたものと考えている。最後に、出展企業、参加者、プレゼンテーション講演者、および実行委員の皆様、会場準備等にご協力頂いたスタッフ各位に心より感謝申し上げます。

(文責 早大 山口勉功)

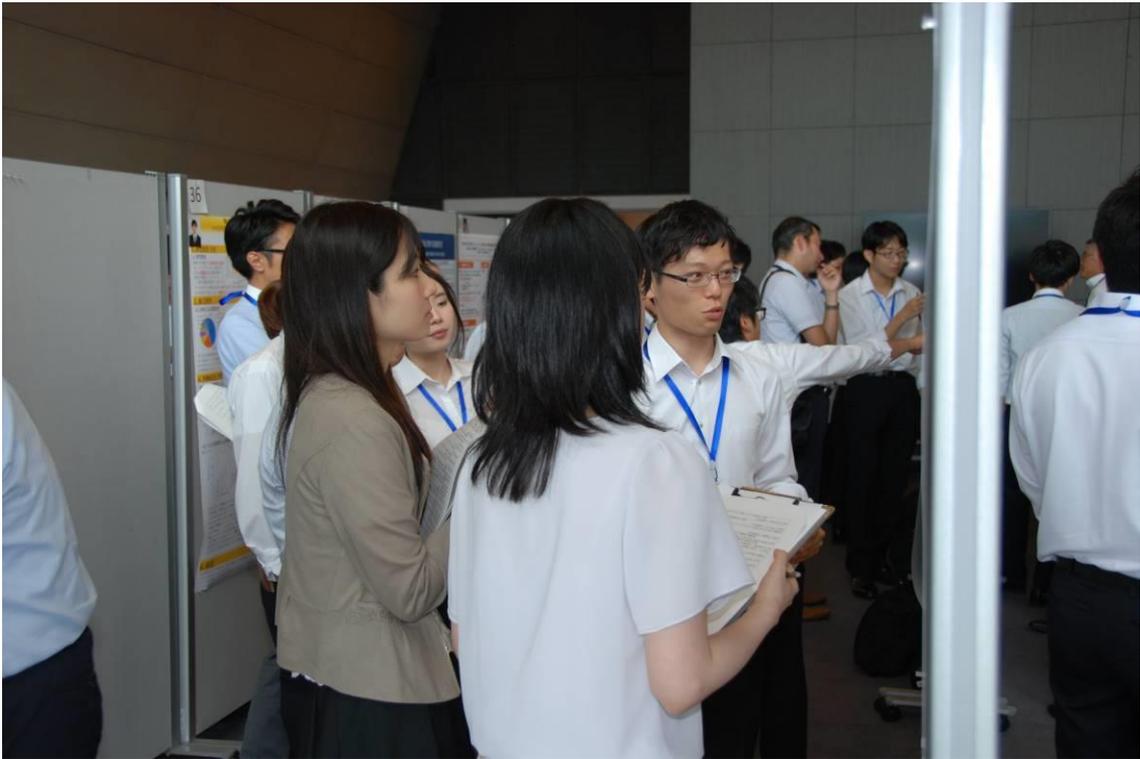


図1 学生・若手研究者によるポスター発表の様子



図2 企業ブースセッションの様子



図3 優秀ポスター賞表彰式の様子

表1 当日のプログラム

13:00～13:05	支部長挨拶
13:05～14:30	学生・若手研究者によるポスターセッション
14:30～14:45	休憩
14:45～15:35	ブース出展各社によるプレゼンテーション（5分間×10回） JX 金属(株)／住友金属鉱山(株)／(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC)／東邦亜鉛(株)／DOWA ホールディングス(株)／日鉄鉱業(株)／ 古河機械金属(株)／三井金属鉱業(株)／三菱マテリアル(株)／ 太平洋セメント(株)／
15:35～15:45	休憩
15:45～17:15	ブースセッション（20分間×4回）
17:30～19:30	意見交換会（武田ホールホワイエ）

表 2 優秀ポスター賞一覧

早稲田大学	角川 和也
1573 Kにおける $\text{FeO}_x\text{-CaO-SiO}_2\text{-Cr}_2\text{O}_3$ 系スラグと Al_2O_3 系耐火物の溶損に関する基礎研究	
共著者：(早稲田大学) 山口勉功	
東京大学	成田 伊織
亜鉛処理と湿式処理を用いた超合金スクラップからのレニウムの新規リサイクルプロセス	
共著者：(東京大学) 八木良平, 岡部徹	
成蹊大学	稲岡 沙映
樹木による重金属汚染拡大防止技術の開発	
共著者：(成蹊大学) 鈴木誠一, 菅原一輝	
早稲田大学	川崎 遥平
化学反応を考慮した地圏流体解析による表面流型人工湿地の鉄・ヒ素除去機構のモデル化及び人工湿地設計への応用	
共著者：(早稲田大学) 鈴木滉平, 門倉正和, 所千晴, (JOGMEC) 正木悠聖	
早稲田大学	大西 真理子
一般廃棄物焼却主灰からの貴金属回収を目的とした粉碎・選別手法の検討	
共著者：(早稲田大学) 山口麻衣, 大和田秀二	

関東支部：『第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会』開催案内

資源・素材学会関東支部では、資源・素材・環境分野の明日を担う学生・若手の技術者・研究者が自由に議論し、互いに好奇心と知識をふくらませ、実りある意見交換の行える機会を提供することを目的として、下記のように『第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会』を開催します。

本年の交流会では前回と同様、前半に関東地区の学部学生・大学院生、企業・研究機関の若手研究者・技術者がポスターを持ち寄り、各自の研究内容について紹介し参加者と議論するポスターセッションを行います。ここで学生によるポスター発表の中から優秀なポスター数件を選出して優秀ポスター賞を授与します。表彰者には副賞として、資源・素材学会の年会費(学生会員期間)ならびに資源・素材2019(京都)への派遣費用(旅費、参加費他)相当額を支給します。

後半では、出展企業等各社のご協力による企業紹介ブースセッションを行います。資源・素材学会の主要分野である、金属鉱業、石灰石鉱業、素材、リサイクル、環境分野の第一線で活躍されている技術者の方々に最新のトピックス、世界の趨勢、課題と挑戦などについて話題提供していただき、参加者と双方向に自由な意見交換を行います。前回に引き続き、ブース訪問前に出展各社の概要を知る時間として、各社からの短時間のプレゼンテーションを設けています。さらに夕刻には、会場内にて意見交換会を開催します。

将来、資源・素材・環境分野での活躍を目指す学生の皆さん、同分野に関心をお持ちの技術者、視野を広めたい方、分野を問わず交流の輪を広げたい方など、学生や若手の技術者・研究者ばかりでなく、広く参加者を募集します。資源・素材学会の会員・非会員は問いません。多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

記

日時：2019年8月2日(金) 13:00～19:30

場所：東京大学 生産技術研究所 An棟 2F コンベンションホール

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1

(<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/access/>)

最寄駅：小田急線・東京メトロ千代田線/代々木上原駅(徒歩12分)

小田急線/東北沢駅(徒歩8分)

京王井の頭線/駒場東大前駅(徒歩10分)

京王井の頭線/池ノ上駅(徒歩10分)

参加費：3000円(発表者、ブース出展者および学生は無料)

参加申し込み：メールで kanto.mmij@gmail.com 宛に以下の内容についてご連絡ください。

(1) 氏名 (2) 所属 (3) 連絡先 (4) 電子メールアドレス (5) 意見交換会参加希望の有無

※学生の場合には、ポスター発表することを原則としています。参加のみの学生は指導教員を通じてお申込下さい。

ポスター申し込み：メールで kanto.mmij@gmail.com 宛にお申し込み下さい。

(1) タイトル (2) キーワード (3 つ以内) (3) 発表者氏名 (4) 所属 (5) 連絡先 (6) 電子メールアドレス (7) 共同発表者名 (8) 意見交換会参加希望の有無。

ポスターサイズは、A0版(841mm×1189mm)以内とします。なお、当日のポスター説明者は、顔写

真をポスター左上の 10cm×10cm 程度の範囲に掲示してください。

申込締切：上記いずれも 2019 年 7 月 19 日（金）

プログラム（予定）

- 12:30 受付開始
13:00 支部長開会挨拶
13:05 学生・若手研究者によるポスターセッション開始
14:30 休憩
14:45 ブース出展企業等各社によるプレゼンテーション(5分×10)
15:45 ブースセッション(20分×4)
**JX 金属（株）／住友金属鉱山（株）／（独）石油天然ガス・金属鉱物資源機構／
東邦亜鉛（株）／DOWA ホールディングス（株）／日鉄鉱業（株）／古河機械金属（株）
／三井金属鉱業（株）／三菱マテリアル（株）／太平洋セメント（株）／住友大阪セ
メント（株）他（予定）**
17:30 意見交換会（An 棟 2F ホワイエ）

実行委員長：岡部徹（東京大学）

実行委員：築城修治（日本鉱業協会）、山口勉功（早稲田大学）、及川寧己（産総研）、田中幹也（産総研）、
古屋仲茂樹（産総研）、森田一樹（東京大学）、松浦宏行（東京大学）、村上進亮（東京大学）、
大内隆成（東京大学）、小山和也（千葉工大）、永井崇（千葉工大）、金田章（三菱マテリアル）、
岡本秀征（住友金属鉱山）、拝生憲治（三井金属鉱業）、小林義文（JX 金属）、
高井義成（DOWA メタルマイン）、飯塚茂（東邦亜鉛）、斎藤雅典（古河メタルリソース）、富田新二（JCOAL）、
佐々木孝之（太平洋セメント）、川崎堯（日鉄鉱業）、田村宗之（JOGMEC）、高木裕治（石灰石鉱業協会）、
岡部進（資源・素材学会）、宇都宮公昭（資源・素材学会）、所千晴（早稲田大学）、**未定**

（敬称略）

問合せ：資源・素材学会 平成 31 年度関東支部事務局

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1

東京大学 生産技術研究所 Fw301

大内 隆成

E-mail : t-ouchi@iis.u-tokyo.ac.jp

Phone : (03) 5452-6314

資料 15-3-2-5

資源・素材学会 関東支部 第1回幹事会 議事録

日時：令和元年5月29日（水）16時30分～17時00分

場所：東京大学 生産技術研究所 An棟3階 大会議室

出席者：21名

議題1：幹事会名簿

メンバーが確認された。

議題2：第15回『資源・素材・環境』技術と研究の交流会の報告

山口勉功前支部長より資料2に沿って第15回『資源・素材・環境』技術と研究の交流会について報告があり、内容について確認された。

議題3：第16回『資源・素材・環境』技術と研究の交流会

岡部徹支部長より資料3に沿って日時、会場について説明があり幹事会で確認された。総会に引き続きブース出展企業数に関する議論がなされた。詳細は総会の議事録を参照されたい。ブース出展料について議論された。第15回までは参加企業には、懇親会への参加費分に相当する程度の額（3万円）をブース出展費として支払って頂いていただき、ブース出展の準備に必要な経費は、関東支部の他の予算から賄っていたことが確認された。今後、健全な運営を維持するために、懇親会への参加費に加えて、ブース出展の準備に必要な経費に相応する額の負担をしていただくことで合意がとれ、出展料15万円ということとなった。

ポスター賞については例年通りの対応となり、千葉工大の永井先生がご担当されることとなった。ブースは東京大学生産技術研究所の教室（20名もしくは40名収容）を利用することとなった。また、学生が訪問ブースを滞りなく移動するための方法については東京大学の八木先生がご担当されることとなった。

以上

文責：大内隆成（関東支部主幹事）

資源素材学会のHPにアップ済み

関東支部：『第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会』開催案内

資源・素材学会関東支部では、資源・素材・環境分野の明日を担う学生・若手の技術者・研究者が自由に議論し、互いに好奇心と知識をふくらませ、実りある意見交換の行える機会を提供することを目的として、下記のように『第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会』を開催します。

本年の交流会では前回と同様、関東地区の学部学生・大学院生、企業・研究機関の若手研究者・技術者がポスターを持ち寄り、各自の研究内容について紹介し参加者と議論するポスターセッションを行います。ここで学生によるポスター発表の中から優秀なポスター数件を選出して優秀ポスター賞を授与します。表彰者には副賞として、資源・素材学会の年会費(学生会員期間)ならびに資源・素材 2019(京都)への派遣費用(旅費、参加費他)相当額を支給します。

さらに、出展企業等各社のご協力による企業紹介ブースセッションを行います。資源・素材学会の主要分野である、金属鉱業、石灰石鉱業、素材、リサイクル、環境分野の第一線で活躍されている技術者の方々に最新のトピックス、世界の趨勢、課題と挑戦などについて話題提供していただき、参加者と双方向に自由な意見交換を行います。ブース訪問前には出展各社の概要を知る時間として、各社からの短時間のプレゼンテーションを設けています。さらに夕刻には、会場内にて意見交換会を開催します。

将来、資源・素材・環境分野での活躍を目指す学生の皆さん、同分野に関心をお持ちの技術者、視野を広めたい方、分野を問わず交流の輪を広げたい方など、学生や若手の技術者・研究者ばかりでなく、広く参加者を募集します。資源・素材学会の会員・非会員は問いません。多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

記

日時：2019年8月2日(金) 13:00～20:00

場所：東京大学 生産技術研究所 An棟 2F コンベンションホール

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1

(<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/access/>)

最寄駅：小田急線・東京メトロ千代田線/代々木上原駅(徒歩12分)

小田急線/東北沢駅(徒歩8分)

京王井の頭線/駒場東大前駅(徒歩10分)

京王井の頭線/池ノ上駅(徒歩10分)

参加費：3000円(発表者、ブース出展者および学生は無料)

申込は円滑な運営のために、可能な限り下記のフォームをご利用ください。

<https://forms.gle/cTUcXagWCrFRPWWb7>

リンクを利用できない場合は、メールで kanto.mmij@gmail.com 宛に以下の内容についてご連絡ください。

参加申し込み：

(1) 氏名 (2) 所属 (3) 連絡先 (4) 電子メールアドレス (5) 意見交換会参加希望の有無

※学生の場合には、ポスター発表することを原則としています。参加のみの学生は指導教員を通じてお申込下さい。

ポスター申し込み：

(1) タイトル (2) キーワード (3 つ以内) (3) 発表者氏名 (4) 所属 (5) 連絡先 (6) 電子メールアドレス (7) 共同発表者名 (8) 意見交換会参加希望の有無。

ポスターサイズは、A0版 (841mm×1189mm) 以内とします。なお、当日のポスター説明者は、顔写真をポスター左上の10cm×10cm程度の範囲に掲示してください。

申込締切：上記いずれも2019年7月19日(金)

プログラム (予定)

12:30	受付開始
13:00	支部長開会挨拶
13:10	ブース出展企業等各社によるプレゼンテーション(5分×10)
14:00	休憩
14:20	学生・若手研究者によるポスターセッション開始
16:00	ブースセッション(20分×4)
17:30	意見交換会 (An棟1F アーペ)

参加企業：JX 金属 (株) / 住友金属鉱山 (株) / (独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 / 東邦亜鉛 (株) / DOWA ホールディングス (株) / 日鉄鉱業 (株) / 古河機械金属 (株) / 三井金属鉱業 (株) / 三菱マテリアル (株) / 住友大阪セメント (株) (予定)

実行委員長：岡部徹 (東京大学)

実行委員：築城修治 (日本鉱業協会)、天満則夫 (産総研)、竹内信登 (東邦亜鉛)、宇都宮公昭 (資源・素材学会)、及川寧己 (産総研)、高津明郎 (住友金属鉱山)、金田章 (三菱マテリアル)、川崎堯 (日鉄鉱業)、小林義文 (JX 金属)、上田高生 (産総研)、小山和也 (千葉工大)、齋藤雅典 (古河メタルリソース)、佐々木孝之 (太平洋セメント)、高井義成 (DOWA メタルマイン)、高木裕治 (石灰石鉱業協会)、尾形剛志 (産総研)、初谷和則 (JOGMEC)、所千晴 (早稲田大学)、富田新二 (JCOAL)、永井崇 (千葉工大)、拝生憲治 (三井金属鉱業)、松浦宏行 (東京大学)、村上進亮 (東京大学)、森田一樹 (東京大学) 山口勉功 (早稲田大学)、今行忠 (住友大阪セメント)、八木俊介 (東京大学)、大内隆成 (東京大学)、予定 (敬称略)

問合せ：資源・素材学会 平成31年度関東支部事務局

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1

東京大学 生産技術研究所 Fw301

大内 隆成

E-mail : t-ouchi@iis.u-tokyo.ac.jp

Phone : (03) 5452-6314

第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会

ブース出展のお願い

資源・素材学会 関東支部長
東京大学 生産技術研究所
岡部 徹

平素より資源・素材学会関東支部の活動にご協力頂き誠にありがとうございます。

さて、関東支部では下記の要領で「第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会」を開催いたします。貴社におかれましては、昨年度に引き続き、交流会でのブース出展を是非お願いしたいと存じます。出展に同意いただけましたら、添付の同意書をご提出いただきますようお願い申し上げます。

記

第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会

日時：2019年8月2日（金）13:00-20:00

場所：東京大学 生産技術研究所 An棟 2F コンベンションホール

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1

(<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/access/>)

ブース出展形式：5分間の紹介プレゼンテーションを行っていただいた後に、

20分×4回の学生向け説明をお願いいたします。

プロジェクタおよびスクリーンを用意いたします。

ブース出展料：15万円

<添付資料>

1. 交流会開催案内
2. ブース出展同意書（ご提出をお願いいたします）

以上

資源・素材学会 関東支部 事務局 行

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1 Fw301

東京大学生産技術研究所 岡部徹研究室内

Tel: 03-5452-6314, Fax: 03-5452-6313

Email: kanto.mmij@gmail.com

ブース出展同意書

第16回「資源・素材・環境」技術と研究の交流会へのブース出展に同意します。

貴社名：

ご担当者：

部署

氏名

TEL

E-mail

ブース出展料支払方法

請求書 必要

不要

支払方法 銀行振込 (振込予定日：)

現地にて現金払

※領収書は当日受付にてお渡しいたします。

Takanari Ouchi

差出人: Takanari Ouchi <t-ouchi@iis.u-tokyo.ac.jp>
送信日時: 2019年6月13日木曜日 0:10
宛先: ○○@○○.co.jp
CC: kanto.mmij@gmail.com; t-ouchi@iis.u-tokyo.ac.jp; 'Toru H. Okabe';
chikujo@kogyo-kyokai.gr.jp; tenma-n@aist.go.jp; benko@waseda.jp;
件名: 'tmiya'【MMIJ関東支部】夏の交流会ブース出展検討のお願い(○○株式会社)
添付ファイル: H31_夏の交流会_ブース出展依頼書_190612.docx; H31_夏の交流会_夏の技術交流会
開催案内_190612.doc

○○株式会社
○○ ○○様

Cc 築城様、天満先生、山口先生

2019年度資源・素材学会関東支部 主幹事を務めております、東京大学岡部研究室の大内です。支部長の岡部徹教授の代理で送信させていただきます。

大変お世話になっております。先日の総会・幹事会にて、夏の交流会の開催が承認されました。そこで、貴社にブース出展をご検討いただきたくご連絡させていただきました。

総会・幹事会でも議論となりましたが、例年に比べて今年度の大きな変更点は、出展料が15万円となっております。添付のブース出展依頼書をご確認いただき、出展いただける場合は、ブース出展同意書の提出をお願いいたします。大変恐縮ではございますが、出展の可否につきまして、6月19日(水)までにご連絡いただけますと幸いです。期日までに結論が出ない場合も、その旨をご一報くださいますようお願い申し上げます。

何か疑問点などございましたらご連絡ください。

資源・素材学会関東支部
支部長 岡部徹
(代筆: 大内隆成)

大内隆成, 博士(工学)

岡部研究室 助教
東京大学生産技術研究所

Tel:03-5452-6638
Email:t-ouchi@iis.u-tokyo.ac.jp
住所:
〒153-8505
東京都目黒区駒場 4-6-1, Fw401
